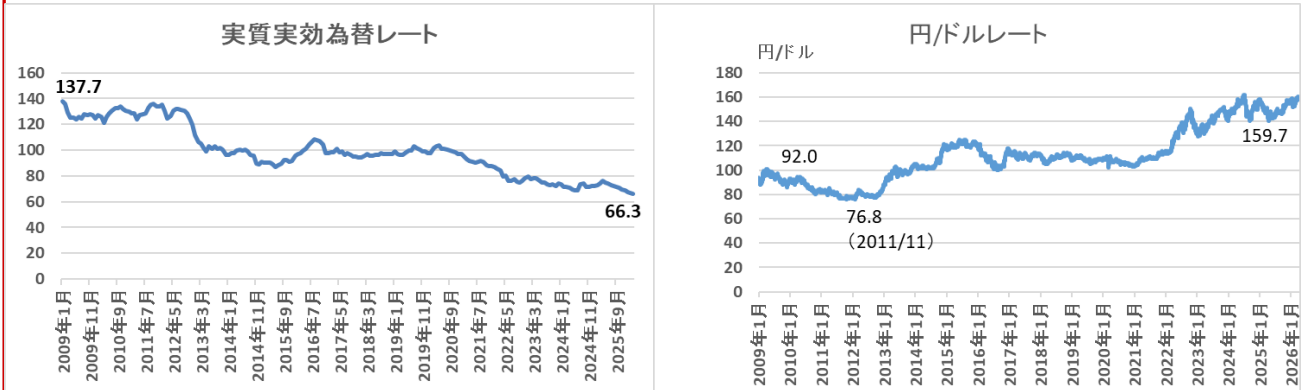


## ATTENTION

この二つのグラフを見ると、円/ドル為替の傾向が見えてくる



二つのグラフは、2009年からの実質実効為替レートと円/ドルレートを見たものです。実質実効為替レートは、相対物価で調整した多国間の、その通貨の実質価値を示すもので、円が構造的に割安か割高かを中長期で見る指標です。円の実力(購買力・競争力)を最も正確に示す指標とされています。つまり、円ドルのような 2国間レートでは見えない「**円の本当の実力**」を把握できます。この実質実効為替レートが、長期で下落傾向です。現在円はほぼ全部の先進国通貨に対して、歴史的な安さになっています。まさに「**実質実効為替レート**」が、それを表しています。2009年初は137.7だったのが、現在は66.3と歴史的な低水準です。これは「**円の実質購買力が歴史的に最弱**」であることを意味します。

一方、2009年初の円/ドルレートは92円、現在は160円間近と、円の弱さが顕著となっています。この二つのデータは、まさに同じ下落方向に動いています。「実質実効為替レート」が反転してくる要因は依然として見当たりません。高市内閣はよくやっているように見えますが、日本の根本治療を断行しないと、ますます手遅れになると言わざるを得ません。財務省は、直近で、懲りずに為替介入に入りましたが、効き目はますますなくなっています。川の流れに小石を投げたようなものです。消費税減税など目先を繕う小手先的手段ではなく、人口政策、規制緩和、財政再建など、痛みを伴う改革を徹底しないと、ますます手遅れになります。1ドル200円も、あながち遠いことではありません。

## COLUMN

### 心がけ次第で、仕事の中身が濃くなる！

この書は自己管理と自己向上にかかわるものです。一言で言うと、仕事が中身濃く、手ごたえを感じながらできるようになるものです。

#### 思考のための「意図的な余白」をつくる

日常、仕事をしていると、常に動き続けてしまい、考える時間がなくなりがちです。しかし、この書は「思考の時間は創造のエンジン」といい、行動より思考を優先するよう求めています。いつもバタバタして、1日終わってみれば、「なにしてたんだろう」では疲れます。時に思考のための「時間」を確保することがよい成果につながります。一日に短い時間でもよいので、一息つくことが実は大事なことです。

#### 信頼と安定を自分の中につくる

個人で働く人も「自分を安定した(ストレスがない)状態にしておくこと」が不可欠です。この書は「信頼は意図して作られる」と述べ、心がけ・誠実さ・対応力に留意することが大事と説きます。判断の迷いや自己否定はストレスを増幅させます。だからこそ、心身の自己管理に心がけ、対外的関係をいつもスムーズにしておく必要があります。

#### 自己ケアを「仕事の一部」として組み込む

この書は「リーダーは自分を最後にしてしまう」と指摘し、自己ケアを後回しにする危険を示します。個人で働く人も組織で働く人も、自分の心身を整えることを「贅沢」ではなく「戦略」として扱うべきです。気分転換に外に行く、窓の外を見る、音楽を聴く、うたた寝するなど、わずかな行動でも思考の質を高め、疲弊を防ぎます。

The Neglected Acts of Leadership

## MARKET

	(4月末)	(3月末比)
日経平均	59,284.92円	+8,221.2円 (+16.10%)
NYダウ	49,652.14pt	+3,310.63pt (+7.14%)
米ドル	156.70円	-2.05円 (-1.29%)

## 私の書棚より

俺はいつでも働いているのだ。俺はうんと考えるのだ。俺は何事が起こっても困らずにすぐ善処するのは、偶然ではない。俺はどんな小さい仕事をするときでも、長い間考えて考えて考え抜いた後でやるのだ。天才とは勉強のことだ。

-ナポレオン

## バフェットがパークシャー株主総会のインタビューで語ったこと

バフェットは、60年務めたパークシャー・ハサウェイCEO職を退き、グレッグ・アベルに引き継ぎ、総会ひな壇でのQ&Aも、アベルに譲りました。総会のQ&Aセッションの内容は、別の機会に譲るとして、ここでは、バフェットが当日30分ほどのインタビューで話した内容をお伝えしましょう。

示唆に富む内容が盛りだくさんです。4000億ドル近い現金を抱え、今後の投資についてどう見るかとの問いに、バフェットは、このように答えています。「わからないことはしない。たくさんのオファーがあるが、理解できないことはしない」。これは当然ながら、想定できる回答です。

「アップルのように理解できるビジネスはあるが、現在人気のAIなど、たくさんのビジネスを理解する必要はない。むしろそこからは遠ざかっていた。60年やってきたが、5年程度が大変実りある時期だった。IBMの創業者Tom Watsonは、スウィートスポットを見つけるのがうまかった、そしてその周りにいつもいた。」すべてのビジネスを理解する必要はなく、自分が理解できる範囲でプレイしろということです。

またバフェットは、現在のマーケットについて、教会にカジノがくっついている形だとして「人々は、教会とカジノを行き来している。カジノが大変魅力的に見える。1日限のオプションは、ギャンブルだ。大量の資金がこういうギャンブルに信じられないほど入っている。今ほどギャンブルの状況になっているときはない。レギュレーションはきびしくなっているが、それを迂回しようとする動きがある。」とします。

バフェットは「パニックは必ず来る、原子爆弾投下もそう

だった」とします。「一番買いのチャンスは、誰も電話に出ないとき(それどころではなく、パニックに陥っているとき)。そういう時は、マーケットが崩壊しているときだ。人々は、それは起きないというが、起きる。びくびくしているのはよくないが、起こり得ることは認識しておくべきだ。」こうして、バフェット(アベルも)は、マーケットの大幅下落をじっと待っているのです。

またバフェットは、経営を引き継いだグレッグ・アベルについて、「彼は素晴らしい人物だ。ビジネスに精通する。米国籍も取った。」そして、米国籍を取ったアベルを引き合いに「アメリカは特別だ。アメリカが成し遂げたことは奇跡だ。何かわからないが、秘密の源泉がある。」。バフェットのアメリカへの信頼は群を抜いていて、アメリカに生まれた自分はラッキーだったと公言するのです。バフェットに言わせれば、自分の成功は、アメリカに生まれたからこそというのです。われわれ、外国人は、この言葉をやっかみ半分に聞くべきではないでしょう。

最後に、インタビュアーが尋ねた総会会場に来た株主へのバフェットの黄金律メッセージ。

「自分がしてほしいように、他人にもしてあげなさい。」

少し加えると：

- ・自分がされて嫌なことは、人にもしない
- ・自分がされて嬉しいことは、人にもしてあげるべきだ

という、人間関係や倫理の基本原則でした。これが、95歳まで生きてきた史上最高の投資家の株主への言葉です。

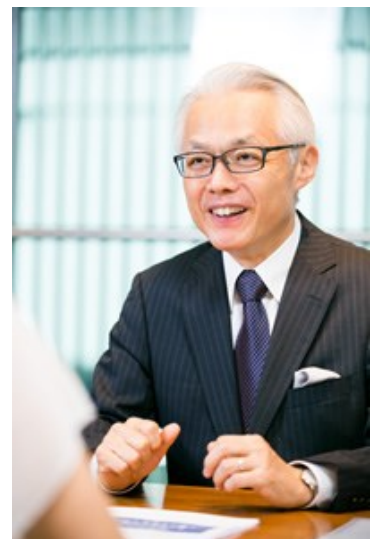
## まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観のもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男  
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386  
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp